

係方固處北ムハレ

前項區處發動、時機、右部隊掃海增加
海面(掃海基地)到着、時トス

大坂公第ニ六二〇二(雷電)

大海指第五二四號

2

軍機

昭和二十年六月二十八日

寫

軍令部總長 豐田副武

小澤海軍總司令長官ニ指示

海軍總司令長官ハ別冊「日本海ニ於ケル

輸送作戰實施ニ關スル陸海軍中央協

定」ニ基キ今後ノ日本海ニ於ケル海上交通

保護作戰ヲ實施スベシ

大海指第五二四號別冊

日本海に於ける輸送作戰實施關する陸海軍中央協定

昭和二十年六月二十八日

大本營海軍部

大本營陸軍部

日本海ニ於テ輸送作戰實施ニ關スル

陸海軍中央協定本冊ノ如ク協定ス

昭和二十年六月二十八日

軍令部總長 豐田副武

參謀總長 梅津美治郎

日本海ニ於テ輸送作戰實施ニ關スル
陸海軍中央協定

一 作戰目的

本ニ決斷準備ノ為陸海軍緊密ニ協同シ日本
海ノ安定確保ニ勉メ凡テ困難ヲ排除シ最短期
間ニ最多量ノ重要戰力物資ヲ輸送スルニ在リ

二 指揮官及作戰兵力

(1) 海軍(詳細別表第一參照)

日本海ニ於テ輸送作戰實施ニ關スル

陸海軍中央協定本冊如ク協定ス

昭和二十年六月二十八日

軍令部總長 豐田副武

參謀總長 梅津美治郎

日本海ニ於テ輸送作戰實施ニ關スル
陸海軍中央協定

一 作戰目的

本土決戰準備ニ為テ陸海軍緊密ニ協同シ日本
海ノ安定確保ニ勉メ凡ソ固難ヲ排除シ最短期
間ニ最多量ノ重要戰力物資ヲ輸送スルニ在リ

二 指揮官及作戰兵力

(1) 海軍(詳細別表第一參照)

指揮官

海軍總司令長官

兵力

海上護衛司令長官、指揮(區)及(以下)
兵力

直率部隊

第一護衛隊

岸鶴鎮守府部隊

大湊警備府部隊

鎮海警備府部隊

第七艦隊

其他特令增強部隊(機関)

護衛(對空)及(以下)之

對潛對機雷作戰機関

部隊(機関)

(四) 陸軍(詳細別表第二參照)

(一) 航空部隊

(七) 對潛部隊

指揮官 航空總軍司令官

兵力 下志津教道飛行師團一部

第二〇六獨立飛行隊

(二) 防空部隊

指揮官 第一總軍司令官、第二總軍司令官

航空總軍司令官

兵力 第十飛行師團及第十二飛行師團

各一部、飛行第三十二戰隊

(二) 地上防空部隊

指揮官

第一總軍司令官、第二總軍司令官

第十七方面軍司令官

兵力

第一總軍隸下防空部隊一部

第二總軍隸下防空部隊一部

第七方面軍隸下防空部隊一部

(三) 其他特令増強部隊(機閥)

三、作戰要領

(1) 海軍

(一) 常面護衛は對潜對機雷作戰ノ重點ヲ對馬海

峽ニ指向シ爾後戰況ノ推移ニ依リ日本海内部ニ

移行ス

(二) 日本海ニ於テハ為シ得ル限リノ方策ヲ講ジ對

馬宗岩、津輕海峡ノ防備哨戒ヲ嚴テラシメ

敵潜ノ侵入ヲ阻止スルト共ニ運航船舶ノ間接